マネー・ローンダリング（資金洗浄）防止関連サービス

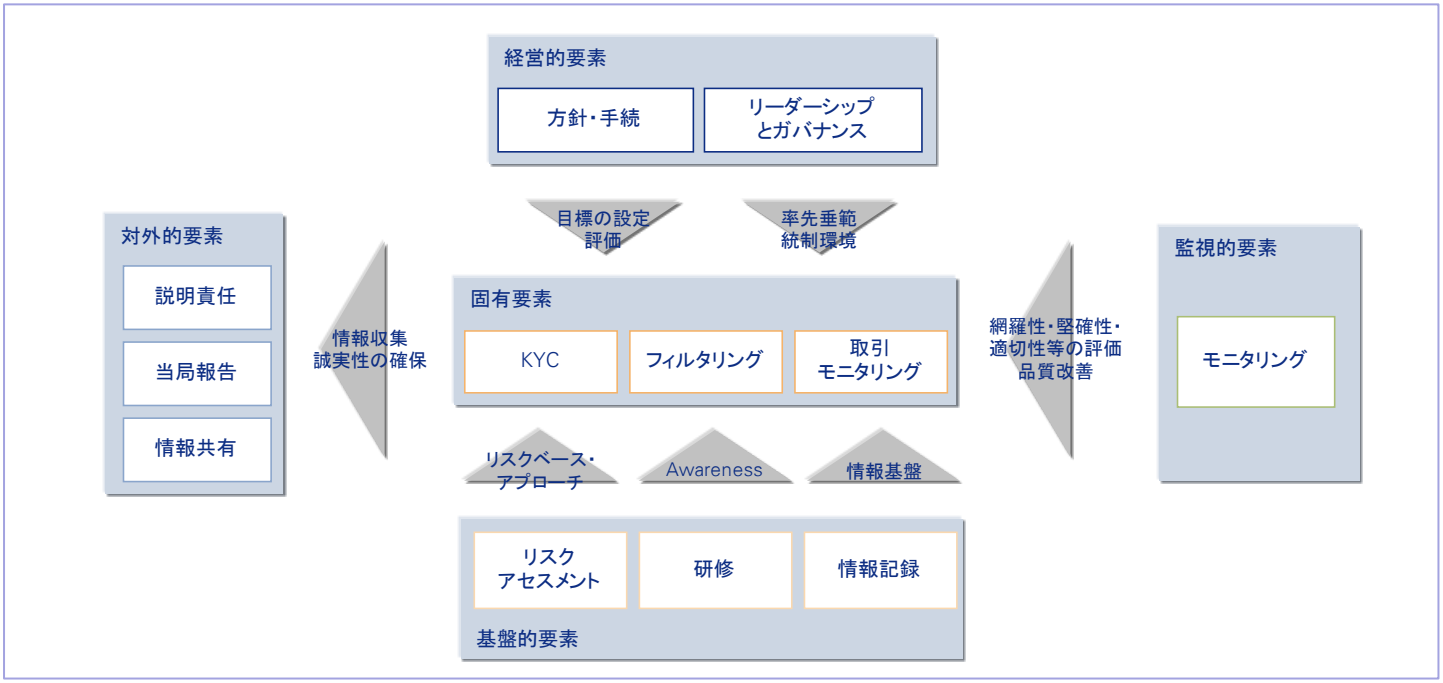
Anti-Money Laundering(AML) related Services

KPMGは、国内外の法規制・ガイドラインによるベンチマーキングやグローバルネットワーク及びこれまでのプロジェクトで築き上げた知見等により、金融機関のAML管理態勢の構築やシステムベンダーへの不正予防システム開発に関するアドバイス等、さまざまなサービスを提供します。

2008年に行なわれた金融活動作業部会（FATF）による第3次対日相互審査後、犯罪収益移転防止法が改正される等、本邦でもマネー・ローンダリング防止に関する取組は進みつつあります。しかし、グローバルの動きに目を向けると、FATFではリスクベースアプローチ、PEPs、真の受益者等を論点とした4次相互審査を行う予定であり、更なる対応の改善が求められます。また、2011年7月に米国が公表した国際組織犯罪（TOC)に対する戦略は、金融機関に求められる金融犯罪対応の外延の広がりを示唆しています。国内でも、フィッシングや振り込め詐欺による被害の継続的な発生や反社会的勢力排除の動き等を背景に、金融機関に対する顧客資産の保護や犯罪予防等の社会的要請は高まりを見せています。こうした中で金融機関としては、AML、反社会的勢力対応、振り込め詐欺等を個別論点として個々に対応していくのではなく、統合的で効率的な対応を行う必要があります。KPMGは、金融機関の業務に精通したプロフェッショナルが内外の法規制やガイドライン、グローバルネットワークや実績・知見を基に、各金融機関の置かれた環境に適合したAML管理態勢の構築や、不正予防システムの開発・導入等のサポートをいたします。

金融犯罪対策の構成要素

KPMGは、マネー・ローンダリングをはじめとする金融犯罪対策の構成要素を12に整理し、「現状診断」、「アクションプラン策定」、「導入」、「有効性検証」の内部統制のPDCAサイクルで態勢構築を支援します。支援にあたっては、この分野において豊富な経験を持つ専門家が、個々のクライアントを取り巻く外部環境や内部管理態勢等を踏まえて、実効性のある改善策を効率的に実施できる具体的な提案を行います。



© 2015 KPMG FAS Co., Ltd., a company established under the Japan Company Law and a member firm of the KPMG network of independent member firms affiliated with KPMG International Cooperative ("KPMG International"), a Swiss entity. All rights reserved.

マネー・ローンダリング関連のサービス事例

ハイレベルリスク評価

リスク評価は、金融機関が、限りある経済的・人的資源を最大限有効活用し、効率的かつ効果的なリスクベースアプローチによる対応の基礎となる重要な部分です。リスク評価には、自社業務全体を俯瞰するハイレベルなリスク評価と、自社の顧客ごとのリスクを評価するボトムアップのリスク評価がありますが、AML管理態勢の構築を行うためには前者のリスク評価の実施が求められます。

KPMGは、各金融機関のハイレベルリスク評価の実施を以下のステップで支援します。

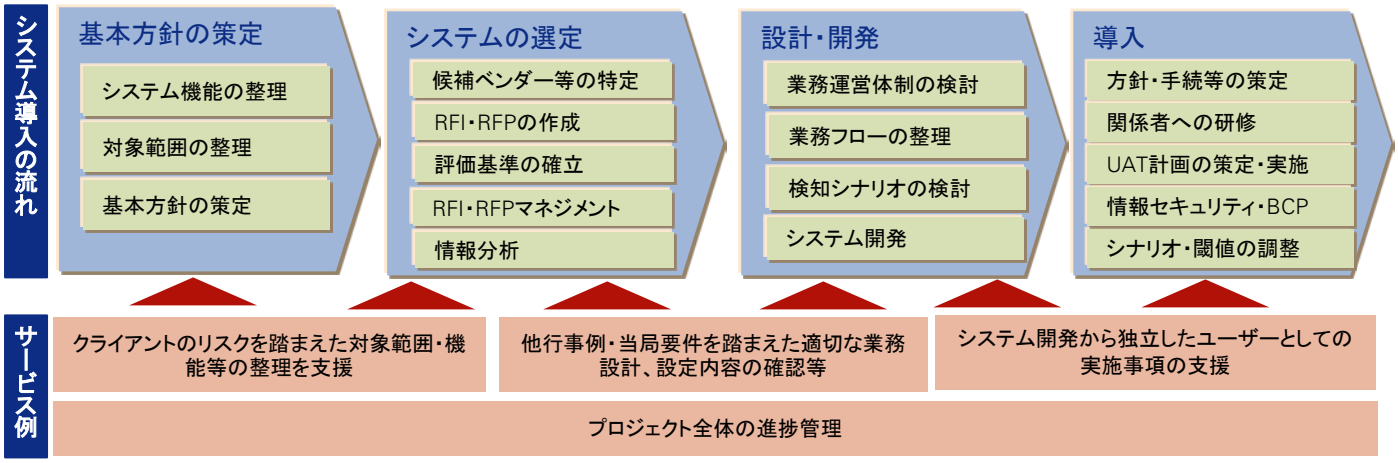
Step1 リスクの認識	Step2 リスク評価	Step3 個別業務のリスク考察	Step4 ロードマップの策定
国内外のガイドライン等から高リスクとされる領域を、その理由・背景と共に整理し類型化	Step1で整理した高リスクの類型への該当性を検証、該当する場合は当該リスクへのコントロール状況等を評価	クライアント固有の業務・商品・スキームを個別に整理、関係者や業務フローに潜むリスクとそのコントロール状況を整理し評価	Step1～3の結果からアクションアイテムを整理、対応の重要度、アクション相互の関連から実効的なロードマップを策定

現状分析・態勢整備支援

これまでの国内外での実績・知見に基づき整理したマネー・ローンダリングをはじめとする金融犯罪対策の構成要素をベースに、法規制・ガイドライン・金融機関における事例をベンチマークとして設定し、現状の体制整備状況の分析を行います。ベンチマークは国際的な要請レベルと本邦における要請レベルに区分し、複眼的に整理した後に、個々の金融機関の立ち位置に合ったアクションプランをご提案します。アクションプランは、設定すべき手続の体系や網羅すべき手続の項目等を各金融機関のリスク特性を踏まえて主要業務テンプレートとしてサンプル的に作成する等、実効性のあるものを策定します。

不正防止システムの選定・導入

KPMGは、グローバルベースで整理した、不正防止システムとして具備すべき業務機能要件や、システム機能要件、ベンダーのサービス提供体制・実績等を網羅的に整理したメソドロジーを活用し、システム選定をサポートいたします。また、システム選定後の、業務要件定義やプロジェクト管理等、システム運用開始までの一連の作業を総合的に支援します。



株式会社 KPMG FAS

〒100-0004
東京都千代田区大手町1丁目9番5号
大手町フィナンシャルシティ ノースタワー
TEL: 03-3548-5770
E-mail: fasmktg@jp.kpmg.com

www.kpmg.com/jp

ここに記載されている情報はあくまで一般的なものであり、特定の個人や組織が置かれている状況に対応するものではありません。私たちは、的確な情報をタイムリーに提供するよう努めておりますが、情報を受け取られた時点及びそれ以降においての正確さは保証の限りではありません。何らかの行動を取られる場合は、ここにある情報のみを根拠とせず、プロフェッショナルが特定の状況を綿密に調査した上で提案する適切なアドバイスをもとにご判断下さい。

© 2015 KPMG FAS Co., Ltd., a company established under the Japan Company Law and a member firm of the KPMG network of independent member firms affiliated with KPMG International Cooperative ("KPMG International"), a Swiss entity. All rights reserved.